

## 議事録（要旨）

会議名称	第6回 葛飾区リサイクル清掃審議会（書面会議）
意見確認者	（審議委員 10名） 崎田会長、朝倉会長職務代理者、庄司委員、佐々木委員、谷本委員、谷茂岡委員、大沢委員、杉野委員、秋山委員、大山委員
配付資料 （郵送にて配付）	一般廃棄物の発生抑制を最優先とした循環型社会について（答申案）

### 1. 書面開催の経緯

第6回葛飾区リサイクル清掃審議会を令和2年5月19日（火）に実施する予定であったが、新型コロナウイルス（COVID-19）の感染拡大防止のため、会を設けての実施を取りやめ、書面での意見確認を行うこととした。

意見確認に際しては、答申案を郵送にて送付し、以下の審議事項について各委員に意見を問い、令和2年5月27日（水）に意見集約を行った。

### 2. 審議事項

①「一般廃棄物の発生抑制を最優先とした循環型社会について（答申案）」に対する意見がないか。

### 3. 審議結果

各委員の意見を取りまとめたものを「別添1」に示す。

指摘委員	内容	修正方針	備考
A委員	「東京湾の最終時処分場の延命化や、温室効果ガスの排出による地球温暖化問題や、天然資源の枯渇など」という文章で、「や」が重複しているため、「地球温暖化問題や」の「や」を削除し、「・」にしたほうがよい。	文脈から「・」ではなく、「、」とした。	
A委員	「食品ロス削減推進基本計画」ではなく、「食品ロスの削減の推進に関する基本的な方針」と表記すべき。	指摘通り修正する。	
A委員	資源量の減少について、「缶類など容器類の軽量化」としてはいかがか。	「びん・缶などの容器類の軽量化」に修正する。	
A委員	「かつしかルール」を進化させたら「日本全国の手本」になるのでは、という表現では強すぎるため、「先進的な取組となるのではないか」へ修正	指摘通り修正する。	
A委員	「冷蔵庫の食品の管理を徹底」を追記したかどうか。	指摘通り修正する。	
A委員	「さらに」の表現が重複しているため削除。	指摘通り修正する。	
A委員	子育て世代や介護世代に対する家庭ごみ有料化は説得材料がなければ受け入れがたい、という文章の後に、「ただし、そういった方々に超過分のみ有料にするなど配慮した手法もある。」と明記。	指摘通り修正する。	
A委員	食品ロス削減推進について、自治体の基本方針と記載があるが、「計画」として位置付けるよう修正。	指摘通り修正する。	
A委員 C委員	実績値内の「区収集ごみ量」には「事業者が有料ごみ処理券を貼って集積所へ排出する」事業系ごみが含まれますが、これを「家庭ごみ」とするのは、【ごみの分類】図と矛盾します。	実績値の表記方法と、計画上の指標の表記方法にずれがあるため、注釈を入れる。(計画上の指標でいう「事業系ごみ」とは「持込ごみ」のことであるため、指標の「事業系ごみ」の下部に注釈を入れる。)	
A委員 C委員	「フードドライブ運動」の意味があまり明確ではない、「フードドライブ」の用語説明を注で挿入	P.13本文中に「賞味期限が切れていない未開封の食品を区民から集め、NPO法人等を通じて社会福祉施設等に寄付するボランティア活動」という記載があるため、注釈は挿入しない。	
C委員	年号表記について、答申案では全て元号暦にしており、平成〇〇年の表記もかなりある。このため、施策の沿革やデータの暦年変化を読み取る際には西暦に読み替えるなどの方法が必要になり煩雑な手間がかかる。西洋暦での表記に変えるのは難しいため、西洋暦を合わせて表記するのがよいと思う。	和洋歴の併記を検討していたが、答申案の中で年号を記載している箇所が多く、すべての箇所併記をすると読みづらさが出てしまうため、できれば和暦のみのほうが良い。	
C委員	答申冒頭の「答申に当たって」の文中において、「ごみの発生抑制を最優先とした3Rの普及啓発活動や情報提供といった取組」と記載があるが、「かつしかルール」の策定など、ごみの発生抑制を最優先とした3Rの仕組みづくりとそのための普及啓発活動や・・・へ修正してほしい。	「かつしかルール」の策定を追記する。「仕組みづくり」というと、スキーム構築のイメージであり、3Rの仕組みをつくったというより、もともとある3Rの概念をもとに、普及啓発活動を行うという趣旨であるため、変更なし。	
C委員	「収集された家庭ごみは～東京都の処分場で最終処分(自然還元)されます。また、資源(再生資源になるごみ)については、それぞれの～」に修正する。 ※それぞれ( )内を追記する。	「最終処分≠自然還元」なので、自然還元という言葉は今回は使用しない。 また、資源については、「資源:ごみのうち、再生資源できるもの」という注釈を追記する。	

指摘委員	内容	修正方針	備考
C委員	全体的に「生活系ごみ」と「家庭ごみ」の区分があいまいである。	指摘通り修正する。 また、ごみと資源の処理フロー図に記載していた「ごみ」という表記を「区収集ごみ」に修正し、本文中との整合性を図る。	
C委員	ごみと資源の処理フロー図について、「自然還元」「再生品」をそれぞれ位置づけるべき。  また、以下文言修正してほしい。 「資源化施設」 →「資源化選別施設」 「葛飾清掃工場内一時保管場所」 →「葛飾清掃工場内で貯留」「ストックヤード内で貯留」 「各メーカー」(インクカートリッジの箇所) →「各メーカー再商品化施設」	最終処分≠自然還元なので、処理フロー図において「自然還元」の表記は行わない。ただし、「中央防波堤外側～新海面処分場(最終処分)」と、最終処分の文言を入れる。  「資源化選別施設」→選別だけを行う施設ではないので、資源化施設のままとする。 「貯留」→「一時保管場所」という表記にしているので、そのままとする。 「各メーカー再商品化施設」→再商品化だけでなく資源化も行っており「各メーカー資源化・再資源化施設」とややこしくなるので、簡単に「各メーカー」のみの表記としている。	
C委員	「ペットボトルの店頭回収を廃止」→「事業者が店頭等で回収したペットボトルの区による引き取り店頭回収を廃止(区による拠点回収は継続)」へ修正。	「ペットボトルの店頭回収を廃止(拠点回収は継続)」と修正。「店頭回収」には注釈入れる。	
C委員	「雑紙」について注釈で説明してほしい。	指摘通り修正する。	
C委員	「指標2:事業系ごみ年間総排出量」の表は非常に分かりにくい。実績値と目標値の表記が紛らわしいところなど、表記方法を工夫して欲しい。	指摘通り、表を見やすく修正する。	
C委員	「事業系ごみは、事業所数の増減や経済状況(さらには近年の生活様式や区民の消費形態の変化)などに影響される点を考慮する必要がある」へ修正。 ※()内を追記する。	指摘通り修正する。	
C委員	「ペーパーレス化による紙類の減少や(びん・)缶類の(プラスチック化(プラスチック素材への転換等)による)軽量化による…」へ修正。 ※()内を追記する。	びんは実際に軽量化しているため追記する。 ただしプラスチック化については、全てがプラスチック化しているわけではないので変更しない。	
C委員	「持続可能な開発目標SDGsでは、」また、SDGsを踏まえて…」と修正。(SDGsの説明は、冒頭部分にしているため、簡潔にする。)	指摘通り修正する。	
C委員	「葛飾区のごみ量を減らし、資源(になるごみ)を良質なりサイクルにつなげる」へ修正。 ※()内を追記する。	「資源=ごみ」ではあるが、本文中には反映せず、注釈で訴えることとする。	
C委員	「直接廃棄」の注釈を入れるべき。	「直接廃棄」の注釈を入れる。 (H29性状調査では「直接廃棄=未使用のまま廃棄された生ごみ」としている)	
C委員	「葛飾区で(適正に分別されずに)不適正に排出される…」へ修正。単純に不適正排出というと、不法投棄等も含まれるため。 ※()内を追記する。	指摘通り修正する。	
C委員	「…小学生に対してごみの分別や資源(になるごみ)の種類…」へ修正。 ※()内を追記する。	他委員の意見のため、原文のままとする。	
C委員	「…最終答申では、(使い捨て型の)ワンウェイプラスチックの削減に…」へ修正。 ※()内を追記する。	指摘通り修正する。	

指摘委員	内容	修正方針	備考
C委員	「容器包装プラスチック以外の製品プラスチック(その他プラ)の資源化」を、「容器包装プラスチック以外の製品プラスチックの資源化」へ修正。 容り法における「その他プラ」は「ペットボトル以外のプラスチック製容器包装」を意味するため。	「容器包装プラスチック以外のプラスチック」と修正。	
C委員	「ごみとして出されている資源の割合を減らすためにも、資源となる紙に関する情報提供」を、「資源となる雑紙に関する～」へ修正。	「資源になる紙＝雑紙」なので、特に修正しない。	
C委員	「生分解性プラスチック」について注釈を入れる。	指摘通り修正する。	
C委員	「雑紙とプラスチックに関する取組のほかにも、(回収する)資源量を増加・・・」へ修正。 ※()内を追記する。	変更しない。	
C委員	「～という方向性があればありがたい。」を「～という方向性を示すのがよいと考える。」へ修正すべき。	他委員の意見のため、原文のままとする。	
H委員	「自治体の循環型社会形成推進基本計画としての性質を持ち、確実に循環型社会につながる計画を策定」という箇所を、「自治体の循環型社会形成推進基本計画としての特性をご理解いただき、着実に循環型社会～」に修正する。	「理解する」だけでなく、実際に循環型社会形成推進基本計画の性質を持つことになるので、修正なし。	
H委員	「葛飾区から排出されるごみは、生活系ごみと事業系ごみに分けられます。(本答申では、)生活系ごみのうち～」に修正する。 ※()内を追記する。あくまでも葛飾区の定義であることを明記。	指摘通り修正する。	
H委員	「半減目標に寄与する」を「半減目標を達成する」へ修正	指摘通り修正する。	
H委員	かつしかルールを「かつしかルール」と鍵括弧でくくる。	指摘通り修正する。	
H委員	・葛飾教育の日を「葛飾教育の日」と鍵括弧でくくる。 また、「を活用した食品ロス削減を目指すとともに」を「を活用して食品ロス削減に関する啓発活動の推進を目指すとともに」へ修正	「普及啓発活動」を進めた結果、「削減」につなげていくので、変更なし。	
H委員	「小盛メニューを頼める」を「小盛メニューを注文」へ修正。	指摘通り修正する。	
H委員	「ホテルや旅館などが食品ロスに関心を持たなければかなり取組が進むのではないか。」を「～に関心を持たなければ大きな削減効果が期待できるのではないか。」へ修正。	指摘通り修正する。	
H委員	「地球温暖化の問題と含めて考える時期にきている。」を「地球温暖化防止対策としてとらえることが重要ではないか。」へ修正	指摘通り修正する。	
H委員	第3次「葛飾区に修正。(ヒトカツにする)。	指摘通り修正する。	
H委員	①とびらの表題である「答申にあたって」は真ん中表記にする。通常はこの部分に宛て(区長)と日付を記入するのでは?②「審議会の提言」部分の枠内を読みやすくする(文頭をそろえる)。	①「答申に当たって」は本文の一部のため、あえてあて名は記載しない。 ②指摘通り修正する。	
I委員	プラスチックを子ども会で集めるという提案は非現実的ではないため、削除するのが良いのではないか。	他委員の意見のため、原文のままとする。	